

## 様式第2号

平成28年度 安曇野市地域包括支援センター運営協議会(第3回) 会議概要

|   |           |                                                                                                                                                                                                                   |
|---|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 審議会名      | 平成28年度 第3回地域包括支援センター運営協議会                                                                                                                                                                                         |
| 2 | 日 時       | 平成29年3月22日(水) 13時30分から15時00分                                                                                                                                                                                      |
| 3 | 会 場       | 安曇野市役所本庁舎 3階 全員協議会室                                                                                                                                                                                               |
| 4 | 出席者       | 宮澤会長、高橋副会長、佐藤委員、西委員、高山委員、金井委員、湯澤委員、<br>宮下委員、岩原委員、黒澤委員、増田委員、山田委員、<br>欠席：奥村委員、奥永委員                                                                                                                                  |
| 5 | 市側出席者     | 堀内保健医療部長、古畑介護保険課長、藤原介護保険課長補佐、<br>西澤介護保険担当係長、平田認定調査係長、新保介護予防担当係長<br>中央地域包括支援センター：藤澤(宏)主任介護支援専門員、宮入社会福祉士、<br>藤澤(芳)保健師<br>南部地域包括支援センター：山岸看護師、丸山主任介護支援専門員、蛇平社会福祉士<br>北部地域包括支援センター：渡邊主任介護支援専門員、佐藤社会福祉士、伊藤保健師、土崎介護支援専門員 |
| 6 | 公開・非公開の別  | 公開                                                                                                                                                                                                                |
| 7 | 傍聴人       | 0人 記者 0人                                                                                                                                                                                                          |
| 8 | 会議概要作成年月日 | 平成29年3月23日                                                                                                                                                                                                        |

協 議 事 項 等

|    |                                                               |
|----|---------------------------------------------------------------|
| I  | 会議の概要                                                         |
| 1  | 開会                                                            |
| 2  | 部長挨拶                                                          |
| 3  | 会長挨拶                                                          |
| 4  | 協議                                                            |
|    | (1) 平成29年度第1号介護予防支援事業及び指定介護予防支援事業委託先事業所の選定(案)について             |
|    | (2) 平成29年度安曇野市地域包括支援センター設置運営方針(案)について                         |
|    | (3) 平成28年度介護予防支援業務委託先事業所の選定(追加)(案)について                        |
|    | (4) 安曇野市地域包括支援センター自己評価の実施について                                 |
|    | (5) 委員の皆様からのご意見                                               |
| 5  | 閉会                                                            |
| II | 協議内容                                                          |
| 4  | 協議                                                            |
|    | (1) 平成29年度第1号介護予防支援事業及び指定介護予防支援事業委託先事業所の選定(案)について<br>《質疑なく承認》 |
|    | (2) 平成29年度安曇野市地域包括支援センター設置運営方針(案)について<br>《質疑なく承認》             |
|    | (3) 平成28年度介護予防支援業務委託先事業所の選定(追加)(案)について<br>《質疑なく承認》            |
|    | (4) 安曇野市地域包括支援センター自己評価の実施について<br>《質疑なく承認》                     |

(5) 委員の皆様からのご意見

委員：介護者が施設に抱く不信感を第三者により軽減・解決できる機能が必要と感じたが、どのような対応を行っているか。

委員：施設利用の場合、本人や家族の同意の下、サービス提供が開始されている。また、不満や苦情がある場合、施設で苦情を受付する他、保険者や県、国民健康保険団体連合会にも窓口があり、活用を検討してもらいたい。

事務局：施設により県で指定している施設と市で指定する施設がある。ともに、3年に1度、運営状況の確認を県や市で実施している。その中で、苦情の記録やその後の対応等についても確認し、聴き取りを行っている。なお、虐待の連絡が保険者に入った場合、速やかにその施設へ確認を行っている。

委員：施設の待機者がいるにもかかわらず、空きベッドがあるという状況はないか。また、職員不足等の問題はないのか。

事務局：市内の介護老人福祉施設の場合、空きベッドはなく機能していると考えている。一方、施設の職員不足は、総合事業等による地域の助け合いの他、国や県、市による職員向け研修会による力量アップ等を図りたいと考えている。

委員：施設内にて虐待が疑われた場合、対応をどのように行っているか。

事務局：連絡が入り次第、速やかに施設へ調査を行っている。調査の結果、虐待でないと判断されることも多いが、虐待と思われた場合には、担当の長寿社会課や県に連絡をとっている。

委員：ある調査にて、地域包括支援センターの認知度が高齢者に広がっているものの、若年層に知られていないという結果があった。若年層に今後知ってもらう必要があると考えるが、学校や企業に向けた周知を検討してほしい。また、地域包括支援センターの周知として3月広報に掲載されていたが、紙面の都合もあり、具体的に解決したといったことは掲載されていない。具体的な活動例等、周知してほしい。

事務局：広報の他、地域での認知症サポーター養成講座や出前講座等を今後も活用し、その中で具体的な活動を説明できるよう、工夫したい。

委員：総合事業への安曇野市の取り組み状況はどのようになっているか。

事務局：現在、ホームヘルパーやデイサービスを利用中の要支援1・2の方は、来年度、それぞれの更新時期に、総合事業対象者であることを確認し、移行となる予定。移行者数は、要支援者約1,500人の内、約300人から約400人をみこんでいる。

委員：運転免許証の返納が話題となっているが、どのようになっているか。

事務局：道路交通法の改正を受け、市民公開講座の開催を医師会と市で4月27日に予定している。弁護士や警察の方からお話をいただき、皆様の理解につなげたい。

委員：加齢に伴う身体機能や認知機能の低下といったフレイルに早く気づき、対応していくことの大切さに触れたが、歯科においてもオーラルフレイルの重要性が取り上げられている。

委員：最近の手術では術前検査の1つとして、歯の状態確認がある。そして、歯周病等の治療を行い、手術を受けることになるが、状態によっては手術までに間に合わないこともある。そのため、定期検診を推奨している。また、歯科では摂食障害や嚥下障害への取り組みとして、お口の体操も行っている。さらに、市のお口元気アップ教室の対象も来年度拡充されるので、出前講座と併せ、利用を検討してもらいたい。

委員：大きな声で笑い、歌を歌ったりすることも大切。